

登校拒否・不登校問題

「第24回全国のつどいin長崎」

実行委員会ニュースN06、7合併号

第24回全国のつどいin長崎実行委員会事務局発行

【事務局連絡先】特定非営利活動法人フリースペースふきのとう

〒857-0874 佐世保市京坪町8-1

TEL 0956-25-6222 FAX 0956-76-8131



暑い最中の実行委員会、終盤です＼(^o^)/

2019年7月28日(日)、8月4日(日)の2週にわたって、暑い暑い佐世保で、第6回、第7回の実行委員会を開催しました。ニュース合併号としてお伝えします。

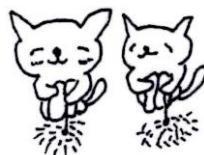


<第6回実行委員会>

埼玉、東京、大阪、京都、和歌山、福岡、佐賀、長崎から78名の参加でした。

実行委員長 澤田修さんよりあいさつ♪

みなさん、こんにちは。つどいまであと1ヶ月となりました。今まで話し合われてきたことが実を結んでいく最後の段階となりました。回を重ねるたびに話し合いが深くなっている気がします。今日は分科会ごとの話し合いが深まっていくことでしょう。佐世保で同級生殺害事件が起きてから丸5年になります。あれ以来、事件がタブー視されているような、抑うつ的な雰囲気市民全体に広がっているように感じます。17年の7月29日、佐世保の市民ネットが広木克行さんを招いて講演を行いました。つどいの中に、この事件から学ぶこととつながるものがあるような気がします。



事務局長より♪

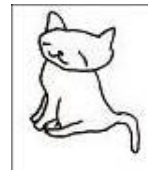
実行委員長のあいさつの中にもありましたが、17年に事件から3年目の教訓として市民ネットで、広木克行さんの講演を行いました。その時の広木さんの言葉を紹介します。

「トランプのロイヤルストレートフラッシュ」

トランプのポーカーでは重要な札が全部揃わなければ、一枚でも欠けると成立しない。子どもの重大な事件はロイヤルストレートフラッシュができるときに似ている。子どもの心を追い詰める要因がいくつも重なり、たまたま全部揃って、子どもの心が耐え切れなくなったとき事件は起きる。だから防止の道はある。他のカードが出揃っても、一枚のカードを子どもに渡さない。一枚欠ければ事件が起きずやすむ可能性が高い。わが子を抱きしめて最後のカードを渡さないと誓うことはできる。市民一人ひとりの歩みを止めずにおこう。


自己紹介より♪

佐世保の事件後の市民ネットの集まりに参加してきた新聞記者。市民ネットには、いろんな立場の人が参加していた。教訓を生かすというのはそんなに大きなことではなく、そこに集う人たちのつながりを生かしていく、ということではないかと思う、と話されました。「子どもがどんな気持ちを抱えて生きているのか、つどいに参加することで気づけていければと思う」と実行委員長澤田先生の言葉もありました。



分科会ごとにわかれての話し合い♪

<p>①小学生の登校拒否・不登校 2人で話し合い。 世話人でない人も名簿に載っているの で確認中。</p>	<p>②中学生の登校拒否・不登校 1人。世話人が少ないので、昨年この分 科会に世話人として参加した全国の方 に連絡して世話人声をかけてみる。 親が安心して話ができ、できれば先生の 思いも聞けるような会にしたい。</p>
<p>③高校生の登校拒否・不登校 世話人の自己紹介をし、案内文を考え た。司会だけ決まった。分科会では、自 己紹介を大事にしたい。</p>	<p>④障がいがある子どもの 登校拒否・不登校 世話人の自己紹介をした。司会は決め たが、今日参加できていない世話人も いるので記録係は保留。</p>

<p>⑤学校とのかかわり・学校づくり</p> <p>案内文に「教育機会確保法」の文言を入れるかどうか議論になった。文面に入れておいて、参加者の動向をみて話題に上げるかどうか決めては？</p> <p>参加者が自由に話せる雰囲気作りを大事にしたい。</p>	<p>⑥青（成）年期をともに生きる</p> <p>4人。欠席の人ともグループラインを作って連絡をとる。参加者がなんでも話せる雰囲気大切に、言っぱなし聞きっぱなし、助言もなしで。1日だけ参加の方を優先する。膝が痛い人には椅子を用意するなど配慮したい。20名以上のときは分散会に。</p>
<p>⑦さまざまな進路・自立に向かって</p> <p>4人。案内文の確認をした。自己紹介、語り合いなどで、参加者の思い、つながり、縁を大切に。来てよかったと思ってもらえるような分科会にしたい。</p>	<p>⑧居場所とはA</p> <p>自己紹介をした。案内文を考えることで、みんなの意見が響き合っている話し合いになった。心の居場所が必要。</p>
<p>⑧居場所とはB</p> <p>係が決まった。1日目は心おきなく安心して吐き出せる場になるように。</p> <p>2日目は、地元の居場所の方に語ってもらい、その後フリートークで。</p>	<p>⑨親・家庭の役割と家庭づくり</p> <p>(今回は参加がありませんでした。)</p>
<p>⑩手をつなぐ輪を広げて</p> <p>1日目は自己紹介。2日目午前は自己紹介とミニ講演。午後は、今悩んでいることを出してもらい、それに関して語り合う。</p> 	<p>⑪医療とのかかわり</p> <p>案内文の確認。係りはほぼ決まった。2日目午後ミニ講演。内容はそれまでの語り合いの内容を受けて澤田先生に話してもらおう。8名の参加者で自己紹介をした。思いを語り合い交流することを大切に、話したいことは話す、話したくないことは話さない。つながりを深めていきたい。</p>

<p>⑫登校拒否・不登校と「非行」</p> <p>3人。世話人が足りないので過去参加した人に尋ねてみることに。当日は、自己紹介はする、ミニ講演はしない、資料は使わない。その場で話されたことは外へは持ち出さないことを初めに確認して進める。参加者が安心して自分の話したいことを話せる雰囲気づくりを。</p>	<p>特設：ひきこもりを語り合う</p> <p>体験発表的なことも考えている。さえぎらない、アドバイスしない、否定しない、を大切にする。移動する方を優先的に。人が多くなりそうなので、分散会を想定しておく。係が決まった。</p>
<p>基礎講座—家庭で</p> <p>案内文、来週までに。</p>	<p>基礎講座—学校で</p> <p>8年前の資料を参考に案内文を考えた。</p>
<p>ひろば</p> <p>案内文を考えた。世話人少ないので、当事者の方とかぜひ。あそびのひろばでは、あそびの内容&あそびに関わってくれる人募集中。</p>	<p>速報</p> <p>去年の大阪のつどいのタイムスケジュールを見て打ち合わせをした。長崎県内の親の会マップを速報に載せるかどうか、事務局で話し合ってください。</p>

参加者の感想よい♪



「11の医療とのかかわり」分科会について自己紹介を進める中で、つどい当日に「大切にしたいこと」のイメージができたように思います。思いを語り合い、交流を図る安心して参加できる分科会を目指したいと思います。(兵庫県：父母)

全く初めての参加でしたが、とても親しみやすい方々ばかりで、また、それぞれの方が抱えていらっしゃる、いらっしゃる心の内を開くことで、誰かの支えになっていること、なれることを感じさせて頂きました。(長崎県)

皆様、とても熱心で驚いています。何か意気込みが強く、この強さが表に出過ぎると当事者の人たちは、ちょっときついかんと思ったりしました。8月4日、そして「つどい」を楽しみにしていきたいと思います。(長崎県：医師)

<第7回実行委員会>

大阪、京都、岡山、福岡、長崎から65名の参加でした。

実行委員長 澤田修さんよりあいさつ♪

先週も今週も暑い中、たくさん集まっていたいただきありがとうございます。みなさんに考えていただきたいことがあります。先週の実行委員会は活気に満ちて盛り上がっていましたが、それが少し気になりました。つどいには、悩みながらようやくたどり着いた方が集まって来られます。私たちが強く構えすぎて気持ちを表に出しすぎると、その方たちが圧倒されないだろうかと気になります。難しいことだろうけど、意気込みを持ったうえで、気持ちの出し方をセーブしてやっていくのがいい。

「やっぱり私はダメなんだ」「頑張りが足りなかった」と思って帰ってもらってはいけない。“話を聞く”を大切にしていきたいと思います。

金子みすずの詩を紹介します。（「私と小鳥と鈴と」）

私が両手をひろげても、お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、地面を速く走れない。

私がかからだをゆすっても、きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように、たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがって、みんないい。

私はこの詩が大好きです。それぞれのありようを考えながら進めていきたい。

事務局より♪

事務局も、つどいまで1ヶ月を切ったと思うと焦ってしまい、頑張らないと、と思っていた。自分たちを振り返る、いい言葉をいただきありがとうございました。

つどい全体の流れを一覧表にまとめていますが、分科会の連絡係や世話人以外にもお手伝いいただきたい係があります。参加するだけのつもりの方へも、例えば少し早く来てもらって受付のお手伝いができないか、など尋ねてみてください。


全国連絡会担当者より♪

長崎佐世保の地元の方が連絡係を引き受けて分科会ごとの話し合いを進めてもらっていますが、ひとつお願いしたいことがあります。分科会世話人の中にはいろいろな立場の方がおられます。研究者・専門家であってもそれぞれが申し込みをしても

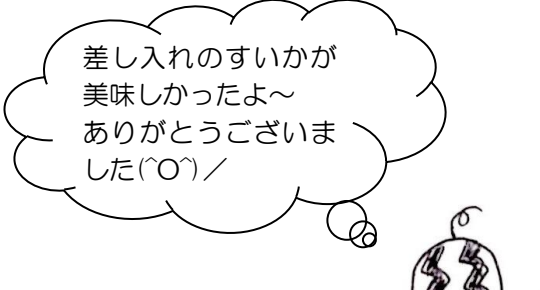
らって参加することになっています。その意味で対等平等の関係です。そして私たちは研究者・専門家の方たちとの関係を大切にしてきました。例年その分科会に参加している研究者・専門家がいる場合、その方たちにも世話人の願いを伝えてみてください。連絡先がわからない時などは、遠慮なく事務局に問い合わせてください。よろしくお願いします。

分科会ごとにわかれての話し合い♪

参加人数は 7/31 時点のものです。
これからもっと増えていきます。

<p>①小学生の登校拒否・不登校 (現在申込人数：6人)</p> <p>2人。世話人が名簿で増えていたので、係を分担した。参加された方が、良かったと思えるものにしたい。「分科会づくりにあたって」を毎回読み合わせて進めていきたい。</p> 	<p>②中学生の登校拒否・不登校 (現在申込人数：7人)</p> <p>2人。毎年分散会に分かれると聞いたので、役割の分担が難しい。司会は、専門家や相談員の方をお願いするのはどうでしょうか？ (全国連担当者より：お願いしたら引き受けてくれるかもしれませんが、司会は現地の親ごさんがやったださるのが、ずっといいと思います) 参加者の気持ちをひきだせる会になるように。現役の先生にも参加して欲しい。</p>
<p>③高校生の登校拒否・不登校 (現在申込人数：7人)</p> <p>2人。世話人が名簿で増えていたので、係の分担の連絡をしてみようと思う。連絡方法を話し合った。</p>	<p>④障がいがある子どもの登校拒否・不登校 (現在申込人数：6人)</p> <p>1人。何も決められない。前回と同じように決めていこうと思う。</p>
<p>⑤学校とのかかわり・学校づくり (現在申込人数：7人)</p> <p>2人。参加者の思いに寄り添う会に。資料は長崎新聞の記事を検討している。緊張をほぐすストレッチなどの紹介資料も検討。係を割り振ったが、今後連絡をとりながら確認していく予定。</p>	<p>⑥青(成)年期をとともに生きる (現在申込人数：12人)</p> <p>途中から1人。ラインなど利用しながら確認していく。</p>

<p>⑦さまざまな進路・自立に向かって （現在申込人数：13人） 3人。係の分担を考えているが、できるだけ地元の人が司会を、との方針で連絡をとってみる。</p>	<p>⑧居場所とはA （現在申込人数：5人） 案内文の変更。係の分担は、遠くの方にも連絡をとってやっていく。</p>
<p>⑧居場所とはB （現在申込人数：3人） 係は前回ほぼ決まっていた。参加者1人ひとりの思いを大切に。気楽に発言し、ほっとしてもらおう。団体のPRは遠慮してもらおう。ミニ講演が決まったのでその内容を報告した。</p>	<p>⑨親・家庭の役割と家庭づくり （現在申込人数：5人） 2人。細かい役割分担は決まらず、これから連絡をとりながら。資料は使わず、悩みや気持ちをひきだし、いろんな思いを出して帰ってもらえたら。初めて参加された方の思いを大切に。話したいことだけを話す。子どもの年齢により話題が偏らないよう気をつける。</p>
<p>⑩手をつなぐ輪を広げて （現在申込人数：6人） 1人。係決まっていた。連絡を取り合っ てやっていく。</p>	<p>⑪医療とのかかわり （現在申込人数：9人） 医療につなげるかどうかの話ではなく、その前の段階の話ができれば。医療者向けの話にならないように気をつける。 1日目と2日目の内容から、澤田先生のミニ講演を計画。</p>
<p>⑫登校拒否・不登校と「非行」 （現在申込人数：4人） 3人。世話人3人の身の上話が深かった。係を一部変更。司会は地元の人に、というアドバイスを受け検討中。</p> <div data-bbox="353 1561 481 1702" data-label="Image"> </div>	<p>特設：ひきこもりを語り合う （現在申込人数：22人） 分散会は避けられないのでそれに合った役割分担が必要。足が悪い方への配慮をする。50人を超えるかもしれないので、もしかしたら3分散会かも。ひきこもりの経験年数で分けたほうがいいのかという案もでたが、あえてそれはせずに、それぞれの経験を聞くことに。</p>

<p>基礎講座—家庭で (現在申込人数：11人) 案内文、修正して決定。村上さんの話の後、質疑応答</p>	<p>基礎講座—学校で (現在申込人数：9人) 高垣さんと連絡を取りながら。高垣さんの話の後、グループに分かれて語り合う。その後、質疑応答。</p>
<p>ひろば (現在申込人数：5人) 使うものの準備に関して話し合い。臨機応変に動こう。</p>	<p>速報 ホームページに何を載せるか話し合った。・・・</p>
<p>本部 分科会案内をもらって10～11日に印刷予定。11～12日に参加証発送予定。</p>	

その他♪

- 当日の横断幕は、8年前のものがきれいに残っている。対馬の方たちが作成した、素敵な横断幕を今回持ち帰っていただいて、手を加えてもらって当日持って来てもらうことになっているのでどうぞお楽しみに(^o^)/
- 割り振られてる係についての詳しい説明はいつ聞けるのか？
～当日の流れは、これから事務局会議で話し合うので、細かいことが決まったら、それぞれ担当してもらう方に連絡する。
- 知り合いの教師に参加の声かけをしてほしい。
- マスコミによる告知は考えてないのか？
～テレビ佐世保では流してもらうよう話している。各新聞社でも案内してもらう。
- お手伝いがまだまだ足りないところがあるので、知り合いを誘ってみてほしい。

参加者の感想より♪

冒頭の澤田先生のお話しにハッとさせられました。大会やスタッフだけの話でなく、親も教師も良かれと思い、つつい言いがちな「がんばろう」「がんばれ」言われた方は、まだまだ「がんばりが足りないんだ」「ダメだぁ」と思うかもしれない。その人の今の(様々な)在り様を認めることを大切にしたいと思いました。(長崎県)

